

## 「次期総合計画 基本構想（案）」に関する パブリックコメント手続の実施結果について

### 1 概要

「次期総合計画 基本構想（案）」は、人口減少や超高齢化の進行等が見込まれる中においても、引き続き、市民の皆様が安全で安心して暮らせる社会を実現するため、おおむね20年後を目標としたまちづくりの基本理念や将来像、目指すまちの姿等をまとめたものです。

同構想の策定に当たり、市民の皆様からご意見を募集したところ、15人の方から47件のご意見をいただきました。

この度、いただいたご意見の内容、及びそれに対する市の考え方をまとめましたので、次のとおり公表します。

なお、いただいたご意見を踏まえ、同構想案を一部修正するとともに、引き続き、基本計画等の策定に活かしてまいります。

### 2 意見募集の概要

- ・ 募集期間 平成31年2月15日（金）～平成31年3月29日（金）
- ・ 募集方法 直接持参、郵送、ファクス、電子メール、オープンハウス各会場
- ・ 周知方法 市ホームページ、企画政策課、各行政資料コーナー、各まちづくりセンター（城山・橋本・本庁地域・大野南まちづくりセンターを除く）、各出張所、各公民館（沢井公民館を除く）、各図書館、市立公文書館、オープンハウス 各会場、広報さがみはら

オープンハウス：基本構想（案）について、イメージパネルをもとに参加者へ説明を行い、意見を聴取する形式の説明会

### 3 結果

#### （1）意見の提出方法

意見数		15人（47）件
内 訳	直接持参	2人（4）件
	郵送	1人（1）件
	ファクス	2人（9）件
	電子メール	9人（31）件
	オープンハウス	1人（2）件

(2) 件数と本市の考え方の区分

項目		件数	市の考え方の区分			
			ア	イ	ウ	エ
	基本構想全体に関すること	3	0	1	2	0
	「基本理念」に関すること	1	0	0	1	0
	「実現に向けた基本姿勢」に関すること	3	0	2	1	0
	「目指すまちの姿」・「政策」に関すること	39	0	27	12	0
	その他	1	0	0	0	1
合計		47	0	30	16	1

**市の考え方の区分**

ア：次期総合計画基本構想（案）に意見を反映するもの

イ：意見の趣旨を踏まえ次期総合計画基本計画等の策定の取組を推進するもの

ウ：今後の参考とするもの

エ：その他（今回の意見募集の趣旨・範囲と異なる意見など）

(4) 意見の内容及びご意見に対する本市の考え方

通番	意見の趣旨	市の考え方	区分
<b>基本構想全体に関すること</b>			
1	全体に文章が長く、個々の問題、政策がはっきりしないと感ずます。一つ一つの区切りをはっきりとすると整理できると考えますのでご検討を希望致します。	いただいたご意見につきましては、今後の基本計画等の検討において参考とさせていただきます。	ウ
2	「基本理念」「将来像」の記述が、絵に描いた餅にならぬように整理し、実際の取り組みに繋げる必要があるのでは、と市民の立場から考えました。	基本構想に掲げた目標が実現できるよう、基本計画等の策定及び推進に努めてまいります。	イ
3	市民の意見や提案を聴こうとしない、自治体・市政の在り方に「協働」の言葉は虚妄である。 絵空事プランは自治体を崩壊させる。 絵空事のプランで市民の理解は到底得られない。	本市のまちづくりに当たりましては、市民・地域団体・事業者など多くの市民の皆様のご意見を伺いながら検討を進めることが重要であることから、平成30年4月に定めた「次期総合計画策定方針」の「策定に当たっての基本姿勢」におきまして、「多様な市民参加機会の創出」を掲げ、取り組んできたところです。 いただいたご意見を踏まえ、引き続き、市民の皆様の声を大切に、計画策定や市政運営に努めてまいります。	ウ
<b>「基本理念」に関すること</b>			
4	「私たちのまちは」に始まる段落は、どこのまちでも通ずるようなとりとめのない感じで、がっかりです。「私たちのまち相模原市は」としてください。 前述したとりとめのないことの原因はもう一つ。歴史的な背景にまったく触れていないことです。合併、政令市はいまだに市民生活、市民感情に色濃く影響を与えています。にもかかわらず相模原市においては、合併、政令市について検証が行われていません。合併、政令市はなかったことにしてはいけません。冒頭で「合併」、「政令市」に触れてください。	基本構想は、議会の議決を受けて定めるものであることや、全市民共通の計画であるという考えから、「相模原市」という表現は用いずに、「私たちのまち」と表現しております。 また、それに続く「丹沢の雄大な山なみ、相模川の清らかな流れ、相模野の広大な台地」で、本市らしさを表現しております。 歴史的な背景につきましては、本市のこれまでのあゆみを総括的かつ簡潔に表現したもので、近年の社会情勢の変化に触れることは適当でないと考えております。	ウ

「実現に向けた基本姿勢」に関すること			
5	<p>市の様々な主体が連携・協働して持続可能なまちづくりを創出していくためには、10の各政策を統合的に実行する推進組織の構築が必要と考えます。</p>	<p>各政策を統合的に推進できるよう、引き続き、検討を進めてまいります。</p>	イ
6	<p>“実現に向けた基本姿勢”に「(4)市の独自性に向けた強い取組みと、誇りをもてるまちづくり。」を追記し、上記基本姿勢に則した“目指すまちの姿、政策”として</p> <p>目指すまちの姿7 「誇りをもって人々が移り住めるまち」</p> <p>政策18 エネルギー(再生可能)の自給自足が可能なまちづくり</p> <p>政策19 食の地産地消を実現するまちづくり</p> <p>政策20 独自の教育・独自の支援が受けられるまちづくり</p> <p>政策21 どこにもない個性溢れるまちづくりを追記願いたい</p> <p>理由として・・・</p> <p>1. 昨年の「シビックプライド最下位」という結果。</p> <p>2. 義務教育課程での「学力低下」という結果。</p> <p>3. SDGsへの「取組みが遅れている」という結果。</p> <p>4. 都市の「ブランディングが図れない」という現状。</p> <p>以上の結果を見たからです。</p> <p>市が持続していくために必要な市民の数を確保する上で、1~4を改善し、発展的に向上させることが不可欠な要素と考えます。</p> <p>都市間競争が激化すれば、市民が街を選択する動機は、</p> <p>特異な存在であること。</p>	<p>「実現に向けた基本姿勢」は全ての政策に共通する基本的な取組姿勢を表現したものです。</p> <p>「市の独自性に向けた強い取組みと、誇りをもてるまちづくり」につきましては、大切な視点であると考えておりますので、今後の基本計画等の検討における参考とさせていただきます。また、新たに提案いただいた政策18から21の内容につきましては、原案の政策13「地球環境にやさしい社会をつくります」、政策10「日本の経済を牽引する多様な産業を振興します」、政策1「子どもが健やかに生まれ育つ社会をつくります」、政策16「いきいきとした地域コミュニティをつくります」に含まれております。</p>	イ

	<p>人に誇れること。 継続的に評価されること。 だと考えます。</p>		
7	<p>どれも主語がないので、誰が何をするのがわかりにくいです。</p> <p>(1)について 3行目に、「よう、市は、市政に関する情報を積極的に公開し、その共有化を図ること…」と加筆してはどうか。</p> <p>(2)について 冒頭に市は、と3字加筆する</p> <p>(3)について 冒頭に市は、と3字加筆する</p>	<p>総合計画は行政計画であるため、主語は市となります。一方でまちづくりは、行政はもとより、市民、地域団体、事業者など、市内で活動する全ての主体が協働して進めることが前提であるため、主体が限定的、又はあえて記載すべきなど、特出する場合に記載することとして整理しました。</p>	ウ
「目指すまちの姿、政策」に関すること			
8	<p>(目指すまちの姿 笑顔で健やかに暮らせるまち)</p> <p>2段目に『共生社会を実現します。』とありますが、これは「共生社会の実現を目指します。」の記述が妥当ではないでしょうか。</p> <p>実現への道の困難さを考えると、期間内の実現を目指す事の表記は、大きなまちになった相模原の真摯な姿勢の表現として無理があるのではないのでしょうか。</p>	<p>おおむね20年後のまちの姿を目指し、共生社会が実現できるよう、取組を進めてまいりたいと考えております。</p>	イ
9	<p>(政策1 子どもが健やかに生まれ育つ社会をつくりますについて)</p> <p>子どもが健やかに育つ社会づくりのために『出産できる環境づくり』の後に『子育て支援』とありますが、ここに「子育てに関する悩み相談」を加え、どの子どもも笑顔で暮らせるまちにすることが重要と考えます。</p>	<p>いただいたご意見につきましては、「子育て支援の充実」に考え方が含まれておりますが、大切な視点であると考えておりますので、取組を推進できるよう努めてまいります。</p>	イ
10	<p>(政策1 子どもが健やかに生まれ育つ社会をつくりますについて)</p> <p>少子高齢化問題の現代に増加している子どもへの虐待です。市において法案をしっかりと検討し、欠かす事が避けることのできない項目ではないのでしょうか。</p>		イ

<p>1 1</p>	<p>(政策2 生涯にわたる豊かな学びの機会をつくりますについて)</p> <p>3行目の「子どもの教育」と「生涯教育」が、『重要であり』と繋がる表記になっています。</p> <p>同じ『教育』であっても子ども達の教育と生涯教育は全く視点が違います。</p> <p>「重要である」と切り「環境づくりが求められています」とはっきりわけて記載すべきでは無いでしょうか。</p> <p>7行目『子どもたちの未来を切り開く力を育むとともに』のあと生涯学習に続いています。ここも同様です。</p> <p>「育む活動に取り組みます。また、生涯学習…」に。</p> <p>そして、『子ども達の未来』の前に子どもには「命の大切さ」と「社会性の向上」を加える必要があると感じます。</p>	<p>いただいたご意見のうち、7行目につきましては、文末の「誰もが生涯にわたり成長し、活躍できる環境づくりを進めます。」が、学校教育及び生涯学習の双方に共通する考え方であることから原案のとおりとしました。</p> <p>また、「命の大切さ」と「社会性の向上」の取組につきましては推進していくものでございますが、教育内容の1分野であるため、原案のとおりとしました。</p> <p>なお、3行目につきましては、文章を区切り、分かりやすい表現となるよう、反映させていただきました。</p> <p>【3行目】 ～に対応しながら、確かな学力、豊かな心、健やかな体を育むことが重要です。また、生涯学習・社会教育においては、～</p>	<p>ウ</p>
<p>1 2</p>	<p>(政策2 生涯にわたる豊かな学びの機会をつくりますについて)</p> <p>退職者の豊富な経験と知識を、将来の世代に活かす</p> <p>1. IT教育に関して、市の無駄な出費を抑制できる</p> <p>特に、IT関係に従事してきた退職後の方々は2020年から開始される小学校のプログラミング教育において、人的資源となる可能性がある。</p> <p>現在、小学校のプログラミング教育の導入に関して、民間の業者が小学校にプログラム関係の商品の売り込みをかけている状況が見えている。私も、多少ITの経験があるので実態を知っているが、AIの分野の中の細区分された『機械学習』という分野の勉強は、実質、無料で勉強できる。わざわざ、業者の言いなりになり、無駄な税金を使うよりも、上記の、IT関係に従事してきた退職後の方々の経</p>	<p>いただいたご意見につきましては、大切な視点が含まれていると考えておりますので、今後の基本計画等の検討において参考とさせていただきます。</p>	<p>イ</p>

	<p>験と知識を活用して、最小の費用で最大の効果を目指すべきだと考える。</p> <p>2. 退職後の方々の生きがいにつながる退職後、することがなく、図書館などで新聞を読んで時間をつぶしたり、居眠りしている年配の方々を見かける。言い方が悪いが、これでは市の負債となる。むしろ、年配者の方でも IT の経験者がいるので、それを小学校のプログラミング教育に使うことができれば、生きがいにつながる可能性も出てくると考える。</p>		
1 3	<p>(政策2 生涯にわたる豊かな学びの機会をつくりますについて)</p> <p>「学びの機会の充実」として教育機関や地域との連携が述べられていますが、「人々の活躍の推進」を図るため「次世代の教育振興」について企画願いたい。例えば「学習環境や教職員等の充実により、次世代の教育振興を図る」などの記述。</p>	<p>「次世代の教育振興」につきましては、「子どもたちの未来を切り拓く力」に考え方が含まれておりますが、大切な視点であると考えておりますので、取組を推進できるよう努めてまいります。</p>	イ
1 4	<p>(政策2 生涯にわたる豊かな学びの機会をつくりますについて)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小中学校の義務教育などにおいて NHK for School のウェブサイトの「すくレポ」などを参考にして、他の自治体の教育の実際の教育の現場で行われている事例を参考にして、相模原市に合う独特な教育システムを作成することが望ましいと考える。</li> <li>働き盛りの世代において 働き盛りの世代にとっては、相模原市は、実質、東京の職場への遠距離通勤におけるベッドタウンとなっている。極端に言えば、「寝るだけの場所」となっている。私も、相模原から東京に通勤したことがあるが、睡眠を十分にとれないのが実態であり、生涯学習とはもっとも遠い距離にある世代であると考えられる。従って、この世代においては、学問的なことよりも、健康管理に関する学習が適している</li> </ul>	<p>いただいたご意見につきましては、大切な視点が含まれていると考えておりますので、今後の基本計画等の検討において参考とさせていただきます。</p> <p>なお、あじさい大学につきましては、高齢者が心身ともに健康で生きがいと喜びに満ちた生活を送れるよう、学習活動を通じて仲間づくりをしながら、知識と技術の習得を図ることを目的としており、講座内容につきましては、あじさい大学運営委員会からの意見を踏まえ、見直しを行っているところで</p>	イ

	<p>と考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シニア世代において 「あじさい大学」において、実践的な学問を重視すべき「広報さがみはら」において、「あじさい大学」の案内や「読者のひろば」を見ると、単に趣味の交流の場となっているように感じる。極論を言えば、頭をそれほど使わずに楽しめる場であり、それは楽しい集まりとなるであろうが、それは「趣味」であり「学習」ではないと考える。</li> </ul> <p>具体的には経営、ビジネスに関する英語、ITなどの分野を重視すべきだと考える。あくまで、私はシニア世代に当たるが、いまさら、万葉集など何の役に立たないものより、IT関係で実践的なことを学習したい。特にAIで人気のあるPythonなどのプログラミングで、機械学習(Machine Learning)などを学びたいと思っている。「シニア世代=歴史・文学」という固定観念を無くし、この世代でも常に新しいことを学びたい市民がいること考慮していただくと幸いである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・その他 具体的には、IT系を重視するべきだと考える。ITのプログラミングでは現在Pythonという言葉が人気があり、国家試験の情報処理技術者試験では、COBOLという言葉廃止して、Pythonを導入することとなった。また、政府は人工知能(AI)を使いこなす人材を年間25万人育てる新目標を掲げた。ただ、政府案は近視眼的であり改善点がある。AI人材年25万人をすぐ育成してもAI分野が成熟したら、それほど人材は必要なくなる場合もある。むしろ、物理学や数学などのブームに関係が無い学問の土台を固めたうえでAIの教育をすべきである。</li> </ul>		
15	(政策2 生涯にわたる豊かな学びの機会をつくりますについて)	いただいたご意見につきましては、今後の基本計画等の検討において参考	ウ



	<p>第2段落</p> <p>(～学びの機会を充実し～環境づくりを進める)ためには、現在すでにある32館の公民館を活かすのが最善の方法と考える。活性化にはまず、使用料を無料に戻し、専門の職員を置くことだ。</p>	<p>とさせていただきます。</p> <p>なお、本市では平成24年12月に「受益者負担の在り方の基本方針」を策定し、市が提供する行政サービスに応じた使用料等の適切な負担についての基準を定め、使用料等の見直しを図っており、公民館の貸出施設の利用につきましても、市民の皆様のご意見を踏まえた上で、検討し、導入したものです。また、職員の資質向上につきましては、継続して取り組むことが重要と考えております。</p>	
16	<p>(政策3 共に支え合い、いきいきと暮らせる社会をつくりますについて)</p> <p>基本姿勢の「暮らし満足度を高める町づくり」</p> <p>「生涯にわたる豊かな学びの機会」(政策2)</p> <p>「生き生きと暮らせる社会」(政策3)</p> <p>「心豊かに暮らせる社会」(政策4)...どれをとってもコミュニケーションが不可欠。</p> <p>市の聴覚障害者のための手話通訳者・要約筆記者派遣は、派遣範囲に制限があり、生活に直接関わる内容のみとなっている。</p> <p>趣味や同好の集まりなどでのコミュニケーション・情報保障が認められない現状では、心豊かな暮らしは望めない。</p> <p>聴覚障害者が心豊かに生き生きと暮らすために、範囲を限定せず、幅広い内容について手話通訳者・要約筆記者派遣を認めることが必要と考える。</p>	<p>誰もが住み慣れた地域で安全で安心して自分らしい暮らしを続けるために、障害者の地域生活への支援に向けた環境づくりが求められているとの認識のもと、原案のとおりとしたものです。</p> <p>手話通訳者及び要約筆記者につきましては、生活上必要とされる範囲で派遣しているところであり、人材が限られていることが課題と認識しております。引き続き、手話通訳者及び要約筆記者の養成講座の開催により人材を養成しつつ、派遣できる範囲の拡充について検討し、聴覚障害者の方の情報保障に努めてまいります。</p>	イ
17	<p>(政策5 個性が尊重され、人権を認め合う社会をつくりますについて)</p> <p>5段目、『人権尊重の理念の反映』の次に、「及び互いの個性の違いへの理解を深め」を記述し『人権教育・啓発の・・・』と続けると前段の求められている課題の答えとして明確な姿勢となるのでは無い</p>	<p>いただいたご意見につきましては、「人権教育・啓発の推進」に考え方が含まれておりますが、大切な視点であると考えておりますので、取組を推進できるよう努めてまいります。</p>	イ

	でしょうか。		
18	<p>(政策5 個性が尊重され、人権を認め合う社会をつくりますについて)</p> <p>外国人市民が活躍できる環境整備、人権尊重の理念を定着させるには現在、各地域で頻繁に見かけられる、ヘイトスピーチへの対応が急務と思う。市条例を制定し早期に規制すべき。また、外国籍市民の増加に対し、日本語教育支援を充実させることが不可欠。</p>	<p>外国人市民が社会で活躍できる環境の整備が求められているという認識のもと、あらゆる施策に人権尊重の理念の反映や人権教育・啓発の推進を図る必要があると考え、原案のとおりとしたものですが、いただいたご意見は大切な考え方ですので、取組を推進できるよう努めてまいります。</p>	イ
19	<p>(政策6 災害に強い都市基盤と地域社会をつくりますについて)</p> <p>「災害リスクを低減する計画的な都市基盤の整備・保全」とあるが、今後、大規模開発が進むという橋本駅周辺には、本当に「安心なまち」を作れるのか。</p> <p>東海道線新横浜駅は、出来たときは何もないところだった。だんだん整備が進み、たとえば新幹線、横浜線、東横線、横浜市営地下鉄の乗客が大量に「帰宅困難者」になっても、対応は出来るだろうと思われる。</p> <p>翻って、橋本駅はどうか？ 横浜線、相模線、京王線に加えてリニア新幹線の乗客が「帰宅困難者」になった時、地元のキャパを超えた対応が必要にならないように計画が必要だと思う。</p> <p>その観点から、駅近くに「広域避難場所」にできる広い土地がないことは大問題だと思う。火災発生の場合、どれほど耐震性があるとしても、建物の中に閉じ込められることは人々のパニックを呼ぶのではないか？</p>	<p>地震や豪雨などによる大規模災害の発生に備えた対応力の一層の強化が求められているという認識のもと、市民の生命と財産を守り、市民生活の安全性を高める取組が必要になると考え、原案のとおりとしたものですが、いただいたご意見につきましては、大切な視点であると考えておりますので、今後の基本計画等の検討において参考とさせていただきます。</p>	イ
20	<p>(政策6 災害に強い都市基盤と地域社会をつくりますについて)</p> <p>「次期総合計画基本構想(案)」につきまして、賛同いたします。その上で、下記の通り補足や追記について、災害時の被害の軽減と、都市機能の維持を実現できる基盤づくりも必要な方向性と「防災</p>		イ

	<p>対策の推進や災害など危機的な事象に強いまちづくり」の考え方について提案します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時でも最低限の事業活動や生活の継続を図るため、エネルギーの供給の多重化・確保を目指します。</li> </ul> <p>【理由】</p> <p>昨年、北海道胆振東部地震や台風 21 号・24 号といった震災・風水害により各地で広域停電が発生しましたが、都市ガスについては安定供給が継続されていました。これにより、広域停電においても都市ガスによりコージェネレーションや停電時発電継続機能付きの家庭用燃料電池によって電気やお湯が継続使用できていました。このようなことから、ガスコージェネレーションやエネファームは、災害時における地域の BLCP の向上に大変有利と考えます。</p> <p>特に市庁舎や病院などは、市民にとって災害時の砦であり、いざという観点から災害発生等非常時の電源確保は最重要課題の一つであり、エネルギー(電源)の多重化・確保によるエネルギーセキュリティの向上に資する設備導入が必要と考えます。</p>		
2 1	<p>(政策6 災害に強い都市基盤と地域社会をつくりますについて)</p> <p>災害リスクを低減する、大規模災害に備えるには、高層マンション建設の規制が必要ではないか。また、小規模の住宅が密集傾向(戸建て住宅の跡地に、2~3戸が建設される)を防ぐために住宅区画の一定面積の確保が必要。空家対策も大きな課題と思う。</p>	イ	
2 2	<p>(政策7 安全で安心な市民生活を守りますについて)</p> <p>近年、マラソン人気が出て、スポーツに関心が出たことは良いことである。ただ、一つ、一般の歩行者として迷惑なこ</p>	<p>いただいたご意見につきましては、今後の基本計画等の検討において参考とさせていただきます</p>	ウ

	<p>とが増えた。それは、歩行者道でランニングの練習をする人が増えたことである。特に、夜暗くなってきた際に、猛スピードで体すれすれを走られて危険性を感じたことが何度もある。場所は、警察署前の国道16号線沿いの自転車専用道路（清新中学校から淵野辺十字路の間）がある新しい歩行者専用道路である。ここをマラソンのトレーニング場と勘違いしている人が、ここ2年間ぐらいに明らかに増えてきた。</p> <p>各マラソンの行事において、あらかじめ出場するランナーの方々に練習は早朝などの人が少ない時間帯に練習を行ってもらうように通知をして頂きたい。</p> <p>スポーツは、健康維持のために行うのであれば、強度のマラソンよりも中ぐらいの運動負荷を継続してするのが一番である。また、一日の間でも少しでも体操、ストレッチ、筋トレを繰り返すのが良い。</p>		
23	<p>（政策7 安全で安心な市民生活を守りますについて）</p> <p>火葬場の新設</p>	<p>本市の火葬需要は、高齢化の進行に伴い年々増加しており、令和9年頃には市営斎場の火葬能力を上回る需要が見込まれることから、緑区青山を最終候補地として、新たな火葬場整備に向けた検討を進めているところです。</p>	イ
24	<p>（政策7 安全で安心な市民生活を守りますについて）</p> <p>緑区青山にある帝京大学グラウンドの火葬場建設地はリスク災害に市民を巻き込むもの</p>	<p>いただいたご意見につきましては、今後の基本計画等の検討において参考とさせていただきます。</p> <p>最終候補地が土砂災害警戒区域に指定されていることなどから、平成29年度に地質調査を行ったところ、今後大規模な斜面崩壊の可能性は小さい、著しい被害を及ぼすような土石流発生の可能性は小さいといった結果でした。</p> <p>利用者の安全確保は重要な視点ですので、引き続き、安全対策の検討を行ってまいります。</p>	ウ

<p>25</p>	<p>(政策8 暮らしやすい住環境と魅力ある景観をつくりますについて)</p> <p>「暮らしやすい住環境と魅力ある景観」が取り上げられた事は評価する。</p> <p>「住環境へのニーズが変化しており、誰もが安心して暮らせる住環境の形成が求められ」ている事。そこには「地域の景観資源の保全」が含まれること。この指摘も高く評価する。</p> <p>この話は津久井地区にのみ当てはまることではなく、旧市内の地域にも言えることだ。そこで、旧相原高校の植栽を残すことを強く要望する。</p> <p>これこそ「市民が誇りと愛着を持てる魅力的な景観」だ。既にある「誇りの持てる景観」を切り崩そうとしながら、「誇りの持てる景観づくり」をうたうのは矛盾している。「魅力的な市街地の景観をつくり育てることで、市民に親しまれる良好な景観を形成」することは、今ある景観を大切にすることから始まるだろう。</p>	<p>いただいたご意見につきましては、今後の基本計画等の検討において参考とさせていただきます。</p> <p>市民が誇りと愛着を持てる魅力的な景観づくりが求められているという認識のもと、山なみや農地、歴史や文化などを守り生かすとともに魅力的な市街地の景観をつくり育てる取組が必要となると考え、原案のとおりとしたものです。</p>	<p>ウ</p>
<p>26</p>	<p>(政策9 活力と魅力あふれる都市をつくりますについて)</p> <p>「活力と魅力あふれる都市をつくります」で、リニア中央新幹線がでてくる。</p> <p>リニアは国の政策なので、市が口をはさむ余地はない、という声も聞くが、「水源地域の自然環境」の保全を謳うなら、一度たちどまって以下を検証して欲しい。</p> <p>トンネル工事によって水涸れを引き起こす可能性</p> <p>南アルプスには多様な希少動植物が存在するそうだが、工事によって、河川や湖沼の水深が浅くなる、流れが切れる、水温が上がるなど、生態系がダメージを受ける可能性</p> <p>地下水脈が断ち切られて水がなくなり、各地で地盤沈下が起きる可能性</p> <p>市としてこれらのことを検証したこと</p>	<p>持続可能なまちを形成するため、地域が持つ特性や圏央道、リニア中央新幹線などの広域交通ネットワークの形成に伴う経済・交流圏域の拡大をまちづくりに生かし、更なる活力と魅力を生み出す取組が求められているという認識のもと、多様な機能が集積した広域的な拠点の形成を進める必要があるものと考えております。</p> <p>リニア中央新幹線の整備に際しましては、引き続き、事業者であるJR東海に対し、万全の対策を講じるよう求めてまいります。</p>	<p>ウ</p>

	<p>はあるのか？その結果、相模原市には被害は及ばないと、確認できているのか？</p> <p>一政令都市が調べて何かを言っても、国からにらまれるだけで良いことはないのか？そうであっても、調べて欲しい。</p>		
27	<p>(政策9 活力と魅力あふれる都市をつくれますについて)</p> <p>鳥屋車両基地 危い地層、土砂災害警戒区域に鳥屋の里を崩壊させる危険性</p>		ウ
28	<p>(政策9 活力と魅力あふれる都市をつくれますについて)</p> <p>「交通ネットワークの形成を図る」について、「交通のバリアフリー」も必要であり追加いただきたい。あらゆる人々が快適に移動可能な交通環境の形成がねらいです。</p>	<p>いただいたご意見につきましては、政策3の「高齢者や障害者の社会参加への取組や地域生活への支援に向けた環境づくり」及び政策9の「人口減少、超高齢化などの社会の変化に適應できるまちづくり」に考え方が含まれておりますが、大切な視点であると考えておりますので、取組を推進できるよう努めてまいります。</p>	イ
29	<p>(政策9 活力と魅力あふれる都市をつくれますについて)</p> <p>小田急多摩線の新設</p>	<p>いただいたご意見につきましては、政策9の「広域交通ネットワークの形成に伴う経済・交流圏域の拡大」に考え方が含まれており、取組を推進できるよう努めてまいります。</p>	イ
30	<p>(政策9 活力と魅力あふれる都市をつくれますについて)</p> <p>横浜、川崎と言った県内主要駅は言うに及ばず、近隣の八王子駅、町田駅などと比較してさえ、相模原駅や橋本駅などはそもそも駅を降りる人の数自体がまばらであり、「往く駅」「帰る駅」ではあっても「来る駅」ではない実状が窺える。</p> <p>さらには駅前にはマンションが林立し商業施設も少なく、施設を誘致する際にそれらのマンション住民による反対運動などさえ起きるなど駅前の環境整備がそもそも難しくなっており、駅近辺の集客及び利便から活力と魅力を考えた場合には悪循環と言える状況が常態化している。住環境の充実は重要だが、主要駅近</p>	<p>いただいたご意見につきましては、大切な視点であると考えておりますので、今後の基本計画等の検討において参考とさせていただきます。</p>	イ

	<p>辺には居住者本人に寄与するのみの住宅よりも市民全体に寄与する土地利用を重視していただきたい。</p> <p>また、イベントの誘致、企業の誘致、なにをもってもそうだが「多様な機能を集積」というのであれば、市自体がそれら機能に「選ばれる」存在にならなければならない。</p> <p>現状において、なにかイベントを開催する時に会場施設等の条件が同じ程度であれば、一部の例外を除いて近隣市町を見回して比較された場合、相模原を選ぶ理由に乏しいという認識に立ち、その上で他の地域ではなく「相模原を選んでもらえる」環境を整備することで、「多様な機能を集積」することが出来る。ただし、常に「選んでもらえるだけの価値」を向上させ続けなければ、築いた集積も流出霧散することとなる。</p> <p>住民や企業も含め、民間には市以外の選択肢が当然かつ無数に存在し、一旦選んでもいつでも市から出て行く決断が出来る以上「活力と魅力あふれる都市」という市が立とうとする場所は他地域との厳しい競争に晒される環境である事の自覚とそれに対する戦略・施策が必要である。</p> <p>現行の市の計画からはそれらを感じ取ることは難しく、それがないままで箱モノだけを建設したところで誰からも選ばれない空箱になるだけではないか。</p>		
3 1	<p>(政策9 活力と魅力あふれる都市をつくりますについて)</p> <p>交通ネットワークの形成を図るためには、バスの増便、コミュニティバスの充実、及び運転免許の自主返納者に対してはバスを発行してバスに無料で乗ることができるようにすることも必要と考えます。</p>	<p>いただいたご意見につきましては、政策9の「人口減少、超高齢化などの社会の変化に適応できるまちづくり」に考え方が含まれておりますが、大切な視点が含まれていると考えておりますので、取組を推進できるよう努めてまいります。</p>	イ
3 2	<p>(政策9 活力と魅力あふれる都市をつ</p>	<p>いただいたご意見につきましては、</p>	イ

	<p>くりますについて)</p> <p>交通ネットワークの形成を図るならば広域よりもまず、市内の交通網の整備が先ではないか。人口減少時代、リニアも圏央道も本市は通過点にすぎず活力と魅力を生み出すとは思えない。幻想を描かずもっと地道な政策を進めるべきだ。</p>	<p>政策9の「人口減少、超高齢化などの社会の変化に適応できるまちづくり」に考え方が含まれておりますが、大切な視点が含まれていると考えておりますので、取組を推進できるよう努めてまいります。また、交通ネットワークの形成による経済・交流圏域の拡大を生かしたまちづくりも必要であると考えております。</p>	
3 3	<p>(政策9 活力と魅力あふれる都市をつくりますについて)</p> <p>リニア駅による相原高校強制移転後、緑(くすの木)も伐り倒した開発はリニア災害のリスクに市民をさらすもの。</p>	<p>いただいたご意見につきましては、今後の基本計画等の検討において、参考とさせていただきます。</p> <p>持続可能なまちを形成するためには、地域が持つ特性や圏央道、リニア中央新幹線などの広域交通ネットワークの形成に伴う経済・交流圏域の拡大をまちづくりに生かし、更なる活力と魅力を生み出す取組が求められているという認識のもと、多様な機能が集積した広域的な拠点の形成を進める必要があるものと考えております。</p>	ウ
3 4	<p>(政策9 活力と魅力あふれる都市をつくりますについて)</p> <p>リニア中央新幹線に伴う橋本駅南口の再開発及び相模総合補給廠一部返還に伴う開発について</p> <p>全国少子高齢化が進む現在において、人々は未来に不安を抱えて生きています。今までのパブリックコメントを読ませていただきましたが、開発より福祉を充実させてほしいという意見が多々見受けられました。市民は住みやすい環境づくりを求めているのが良く分かります。市の政策を見ても人口が減少し、高齢化が進むと暗い話題ばかりです。今ある状況をどうやったら改善できるか?この先もずっと市が発展し続けるためには、人を呼び込むことだと思えます。今は少子高齢化ですが、50年もすればまた状況は変わります。</p>	<p>いただいたご意見につきましては、大切な視点であると考えておりますので、今後の基本計画等の検討において参考とさせていただきます。</p>	イ



	<p>そんな中でリニア中央新幹線の駅がこの市に出来るということは、チャンスではないかと思えます。何がチャンスかと言うと、1、企業を呼び込むチャンス、2、住む人を呼び込むチャンスだと思っています。企業や人が増えれば市の収入も増えます。財政状況が整えば、福祉も充実してくると思えます。しかし市のような観光がない場所では、人が行きたい、住みたいと思えるようにするには魅力的な場所ではなくてはなりません。どんなに田舎でも居心地が良くおしゃれな場所には、少し遠くても行ってみようと思うのが人間の心理です。</p> <p>それと 30 年以内に 70%の確率で起こると言われている地震。東海、東南海が危険と言われていますが、関東も大地震に見舞われる可能性は十分にあり、都内が壊滅的な被害を受ける可能性もあり、今ある東海道新幹線も津波で使えなくなる場合もあります。そんな時、交通網が発達している安全な場所に移りたいと思う企業や人はたくさんいるかと思えます。ですので、市は災害に強く安全で、人々が住みたいと思うような魅力的な街づくりをしたらよいと思えます。</p>		
35	<p>(政策9 活力と魅力あふれる都市をつくりますについて)</p> <p>「こうした状態を踏まえ・・・」以下は何を言わんとしているのかわかりません。</p> <p>また、「人口減少、超高齢化など社会の変化に対応できるまちづくり」とは具体的にどんなことですか。</p>	<p>政策9の後段部分につきましては、人口減少・超高齢化が進行する中において、生活に必要な都市機能を支える日常生活施設やバスなどの交通ネットワークの維持・確保といった身近な課題に対応できるとともに、ICT・IoTなどの技術革新を導入することや、不測の災害への備えを行うことなど、様々な社会情勢の変化に柔軟に適應できるまちづくりが必要であることを説明したものです。</p>	イ

<p>36</p>	<p>(政策9 活力と魅力あふれる都市をつくり、政策12 文化、スポーツに親しみ、活力と交流が生まれる環境をつくり出すについて)</p> <p>例えば、伊勢丹相模原店の跡地をコンベンションセンターに改装することでもって代替できないだろうか。同店の延べ床面積は約2万9千平方メートルであり、これに隣接するグリーンホールの諸施設を合わせて考えれば市がコンベンション施設に想定する床面積3~8ha規模にほぼ匹敵する。また、パシフィコ横浜や幕張メッセなどコンベンション施設に大型ホール機能を付与する例は少なくないが、この機能は新設するまでもなく既存施設で用足りる。低層階または店内コンコース近辺を商業施設化すれば、地域の「後継施設は街のイメージを損なわない商業施設」という要望にもある程度添える。</p> <p>無柱かつ天井高の高い展示場を確保できないなど改装では不具合があるというのであれば、同立地での建設の場合でも「グリーンホールを含めた既存施設活用策」という方向には出来るのではないか。</p> <p>そもそも、パシフィコ横浜と同程度の施設を相模原駅北口に作ったところで、敢えて国際会議や展示会を横浜ではなく相模原でやる、という催行主が多いとは考えにくい。適正規模への縮小または大野における伊勢丹跡地を利用したグリーンホールの機能拡張などを検討してはどうか。</p> <p>美術館について、市立美術館を二館整備するという現行計画案には疑問が大きい。美術館の価値を決める大きな要素は施設ではなく収蔵物・展示品にあり、二館建てる予算を費やすぐらいならば二館目の予算を美術品の収集に用いて、より価値の高い収蔵品を所蔵するのに使うのが筋では。</p>	<p>人口減少、超高齢化など社会変化が進行する中においても市民の皆様が快適に暮らすためには、更なる活力と魅力を生み出すまちづくりが求められているという認識のもと、多様な機能が集積した広域的な拠点や地域特性を踏まえたまちづくりなどを進める必要があると考えております。</p> <p>また、活力と魅力を生み出すまちづくりには、多様な主体との連携・協働による地域の伝統文化や文化芸術活動の振興が重要である考え、政策12のとおりとしたものです。</p> <p>相模総合補給廠一部返還地におけるまちづくりにつきましては、多様な交流機能を備えた新市街地をコンセプトとしておりますので、いただいたご意見も参考にしながら、まちのにぎわい創出に資する効果的な方策について、今後、多角的に検討してまいります。</p>	<p>イ</p>
-----------	--	--	----------

市内に既にフットボール系の全国リーグ規模のチームを4つ抱えているが、これは全国的にも極めて希少な例で、サッカー男女、ラグビー、アメリカンフットボールのそれが一市内で揃う地域は他に神戸市ぐらいであるとも聞く。また、これらのスポーツチームはホームタウン制度の浸透によって市町村に属する性質が強まっており、例えばコンベンションセンターでの開催が想定される各種のイベントと比較しても他地域への流出が極めて考えづらく、また定期的かつ年間複数回に及ぶ催行を想定出来るコンテンツである。

他地域に流出しにくく定期開催性がある興行コンテンツこそ利便性を向上させ、価値をより高める意味で、相模原駅北口広域交流拠点において米軍との共同利用地にスポーツ・レクリエーションエリアを設置するのみならず、返還地内に興行と観戦及びホスピタリティを重視したスポーツ施設、特に球技専用競技場の設置を希望する。可能であれば合わせてBリーグ開催規模のホール整備を行い、BリーグやFリーグなどのホームタウン制度のあるスポーツチームの育成または誘致につとめ、それらの定期興行に加えて不定期の屋内イベント誘致に活用できないか。これらスポーツチーム、例えばサッカーにおいてファン・サポーターがアウェイ戦に出掛ける際、行き先を選ぶ基準として利便が高く観戦環境のよい施設を擁する対戦相手を選ぶという意見もあり、興行スポーツの開催施設を相模原駅北口に集中させることで、市民や来訪者が恒常的にスポーツを楽しむことができるとともに、交流が生まれる環境に近づけていく方向を期待したい。

いずれにせよ「文化、スポーツに親しみ、活力と交流が生まれる環境」に区分され

	<p>る広域交流拠点に関わる現行計画案は予算を費やしながらか近隣他市が整備提供している機能の縮小再生産に終始したあげく、それらとの競争に敗れ期待した機能が現れない、という結果に終わる懸念がある。</p> <p>ことに現行計画のコンベンションセンターや美術館などは建物が立派でも中身がなければ機能しないコンテンツ寄りの施設であり、コンテンツ誘致能力に乏しく知名度と都市ブランド力に劣る相模原市の現状においてはそうなる恐れが特に強いものと感じられる。</p>		
37	<p>(政策10 日本の経済を牽(けん)引する多様な産業を振興しますについて)</p> <p>リニア新幹線による経済効果は、期待できない可能性が高いと思われる。その理由は、橋本で降りて観光地に行く可能性が少ないためである。</p> <p>特に、観光資源も無い市において、ビジネス感覚あふれる人材を作ることが先決である。そのためにも、人的資源を育成することが将来的かつ間接的に市の活性につながると考えられる。</p>	<p>いただいたご意見につきましては、政策10の「多様な働き手の活躍促進や人材の育成・確保」に考え方が含まれておりますが、大切な視点が含まれていると考えておりますので、取組を推進できるよう努めてまいります。</p>	イ
38	<p>(政策11 基地全面返還の実現を目指しますについて)</p> <p>市が提示する開発提業を見る限り、当面米軍に預けておく方がむしろ次世代に向けて余地を残すことにつながるのではないか、という懸念を覚えるところである。</p> <p>返還及び駐留組織縮小も必要ではあるが、現にそこにあるものとして米軍とその関連施設自体をなんらかの形で市内の資源として活用する策がないものか、検討してみる必要があるのでは。</p>	<p>市内米軍基地はいずれも都市化された人口密集地に位置しており、市民の生活に様々な影響を及ぼし、また、計画的なまちづくりを進める上で大きな障害となっていることから、基地の整理・縮小・早期返還を基本姿勢としております。</p> <p>このような取組の中で、相模総合補給廠につきましては、約17ヘクタールの一部返還と約35ヘクタールの共同使用が実現したところでございます。</p> <p>引き続き、市米軍基地返還促進等市民協議会とともに、国・米軍に対し、求めてまいります。</p>	ウ

39	<p>(政策12 文化、スポーツに親しみ、活力と交流が生まれる環境をつくりますについて)</p> <p>「活力と交流が新たな価値や魅力を創造するまち」と謳って「スポーツなどの地域資源を活用して、市内はもとより、国内外から多くの人や企業を呼び込み、更なる交流を生み出す」と言うが、市民に親しまれてきたプールを廃して、一年中スケートが出来る環境を用意することが、それに叶っているのか。</p> <p>なぜ、スケート一辺倒にするのか、納得の行く話がない。説明が足りない。</p> <p>水泳訓練は、レジャーの域を超えて、生命の安全に関わる活動だが、小学校の実習は充分であるのか？ 学校の訓練が手薄になるなら、家族が訓練できる場所として、アリーナプールは貴重だった。残したい。</p>	<p>いただいたご意見につきましては、今後の基本計画等の検討において参考とさせていただきます。</p> <p>地域の活性化や交流人口の拡大に向け、本市の特色あるスポーツ施設やアウトドアスポーツに適した自然環境、ホームタウンチームなどのスポーツ資源を活用することが求められているという認識のもと、これまでの市民のスポーツ振興に向けた取組はもとより、市内外から多くの人を呼び込み、更なる交流を生み出せるような取組も必要になると考え、原案のとおりとしたものです。</p>	ウ
40	<p>(政策13 地球環境にやさしい社会をつくりますについて)</p> <p>ごみの減量化、特にプラスチックゴミの増加は地球規模。市としては企業などに働きかけ容器包装素材の変更を促す取組みが必要だ。</p>	<p>いただいたご意見につきましては、政策13の「ごみの減量化・資源化の推進など」に考え方が含まれております。</p> <p>多くのスーパー等の小売店では、レジ袋の有料化や使用しない場合のポイント付与などにより、レジ袋の削減に取り組んでいることから、本市としても事業者への働きかけの強化を進めます。</p>	イ
41	<p>(政策13 地球環境にやさしい社会をつくりますについて)</p> <p>ゴミの古くて新しい課題として、減量、4R作戦などがあります。成果を広く市民に知らせてください。</p>	<p>いただいたご意見につきましては、政策13の「ごみの減量化・資源化の推進など」に考え方が含まれております。</p> <p>現状や取組の効果につきましては、引き続き、写真・イラスト、映像等により分かりやすく「見える化」するなど、情報提供の充実を図ってまいります。</p>	イ

4 2	<p>(政策15 やすらぎと潤いがあふれる生活環境をつくりますについて)</p> <p>「安らぎや潤いを感じる」として、地域特性を生かした木材需要の創出、潤水里山の公園化を進める記述を追加いただきたい。</p>	<p>いただいたご意見につきましては、政策10「日本の経済を牽引する多様な産業を振興します」、及び政策14「恵み豊かな自然環境を守り育てます」に考えが含まれております。</p> <p>また、「潤水里山の公園化」につきましては、政策15「やすらぎと潤いがあふれる生活環境をつくります」において、快適で安全な生活を送るため、良好な生活環境が求められているという認識のもと、魅力ある公園整備などの取組が必要となると考え、原案のとおりとしたものです。</p> <p>新規公園の設置につきましては、周辺の公園等の整備状況や地域の皆様からの要望状況等を総合的に鑑み、優先度を検討する必要があるものと考えております。</p>	イ
4 3	<p>(政策16 いきいきとした地域コミュニティをつくりますについて)</p> <p>市には、広域交通ネットワーク、産業環境、自然環境など各分野において他市に先んじた魅力がありますが、その魅力づくりに各区が個別に活動しているように思われます。</p> <p>3区の魅力を活用し、市全体として相乗効果の得られる政策を検討してほしいと思います。</p>	<p>いただいたご意見につきましては、政策16の「多様な主体がそれぞれの強みを生かして連携・協働し、地域課題の解決をはじめ、区・地域の個性を生かした魅力的なまちづくりを進めます」に考え方が含まれておりますが、大切な視点が含まれていると考えておりますので、取組を推進できるよう努めてまいります。</p>	イ
4 4	<p>(政策16 いきいきとした地域コミュニティをつくりますについて)</p> <p>この3行はわかりにくいです。主語が抜けているので、「こうした状況を踏まえ」のつぎに市は、の3字を補ってください。</p>	<p>総合計画は行政計画であるため、主語は市となります。一方でまちづくりは、行政はもとより、市民、地域団体、事業者など、市内で活動する全ての主体が協働して進めることが前提であるため、主体が限定的、又はあえて記載すべきなど、特出する場合に記載することとして整理しました。</p>	ウ
4 5	<p>(政策17 持続可能な行財政運営を行いますについて)</p> <p>「こうした状況を踏まえ」のつぎに市は、の3字を補ってください。</p>		ウ

4 6	<p>(政策17 持続可能な行財政運営を行いますについて)</p> <p>メインテーマである「笑顔と希望があふれるまち」とするには、福祉や教育の予算を確保しなければならない。少子高齢化による将来の財政負担が分かっているのであれば、市と市民が協力してビジネス的感覚でこの問題を解決しなければならない。</p> <p>そこで、市のホームページで財政のサイトを見るわけであるが、「市の財政」のページに行きつくまでに、多少の労力を必要とする。トップページのどこかに「市の財政」のボタンを設置して、将来の財政確保の必要性があると痛切に思う。</p> <p>また、財務書類の数字のデータとは別に、その数値をグラフなどの「見える化」の方針にしたグラフのページを作り、市民が市の財政を直感的に理解できることが重要であると考え。ただでさえ、一般の市民が市のホームページで財政状況を見ようという気持ちは少ないと思われるので、そこを改善しないと、将来の行政運営の改善につながらないと考えられる。</p>	<p>いただいたご意見につきましては、大切な視点であると考えておりますので、市民の皆様には財政状況をより分かりやすくご理解いただけるよう、参考とさせていただきます。</p> <p>なお、行政サービスの効率性・有効性の更なる向上が求められているという認識のもと、市政の透明性を高め、市民・市議会・行政が課題や目標に対する共通認識を持つことが重要となると考え、市ホームページ等において財政状況の公表を行っているところで</p>	イ
その他			
4 7	<p>「個人情報保護」とはどう行動することか？ について、市職員は良く理解しているが、市民（それも、自治会関連の、多くの人の住所氏名などを知ることの出来る立場の市民）の理解が充分でないのが市の現状ではないか？</p> <p>政策3に、「誰もが住み慣れた地域で安全で安心して自分らしい暮らしを続けるために、市民が相互に支え合う社会の実現」とあるが、その実現のためにも、市民（それも、自治会関連の多くの人の住所氏名などを知ることの出来る立場の市民）の「個人」という存在への「認識の切替」または「認識の深化」が必要だと</p>	<p>本市では、個人の尊厳を保つ上で個人情報の保護が重要であることから、市が保有する自己の個人情報の開示等を請求する権利等を定めた個人情報保護条例を制定しているところです。</p> <p>また、個人情報の保護を図るためには、市民一人ひとりが個人情報の保護の重要性を認識していただくことが必要であることから、個人情報保護制度の周知に努めてまいります。</p>	エ

	<p>思う。</p> <p>政策 5 に、「こうした状況を踏まえ、あらゆる施策への人権尊重の理念の反映や人権教育・啓発の推進を図る」とあるが、推進するには、ここに言う「こうした状況」のさらに基本にある市民（それも、自治会関連の多くの人の住所氏名などを知ることの出来る立場の市民）の認識の甘さに警鐘を鳴らしたい。</p> <p>自治会に加入する人が減っていることが問題視されているが、このような「無神経さ」が「新しいタイプの住民」から敬遠される遠因のように思う。</p>		
--	--	--	--